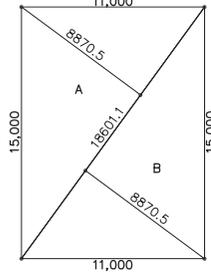




# 確認申請図書の作成上の留意点 (求積図、地盤面積算定表、配置図)

■敷地面積求積図 S=1/300



■敷地面積表

符号	底辺	高さ	倍面積
A	18.6011	8.8705	165.0010
B	18.6011	8.8705	165.0010
倍面積合計			330.0021
合計面積			165.0010
地積			165.00 m <sup>2</sup>

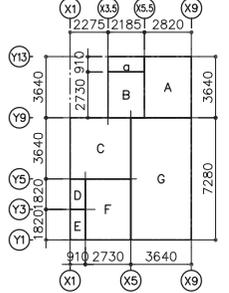
■配置図 S=1/100



計算途中の端数処理は行わない

敷地面積の端数処理  
合計面積について、小数点以下第3位を切り捨て

■1階床面積及び  
建築面積求積図 S=1/300



■床面積表

	縦	横	面積
α	0.91	2.185	1.98835
A	3.64	2.82	10.2648
B	2.73	2.185	5.96505
C	3.64	3.64	13.2496
D	1.82	0.91	1.6562
E	1.82	0.91	1.6562
F	3.64	2.73	9.9372
G	7.28	3.64	26.4992
H	3.64	3.64	13.2496
I	3.64	3.64	13.2496
J	4.55	3.64	16.562
K	2.73	3.64	9.9372
1階床面積	A+B+C+D+E+F+G		69.228 m <sup>2</sup>
	=		69.22 m <sup>2</sup>
2階床面積	H+I+J+K		52.998 m <sup>2</sup>
	=		52.99 m <sup>2</sup>
延床面積 ≙ 容積対象面積	1階床面積+2階床面積		122.21 m <sup>2</sup>
容積率	74.07%		< 100% (∴OK)
建築面積	α+A+B+C+D+E+F+G		71.216 m <sup>2</sup>
	=		71.21 m <sup>2</sup>
建蔽率	43.16%		< 50% (∴OK)

■各位置高さ

	道路中心高からの高さ	地盤面からの高さ
樋先 i	3.610 m	3.324 m
樋先 ii	6.472 m	6.186 m
寄棟頂部	8.400 m	8.114 m

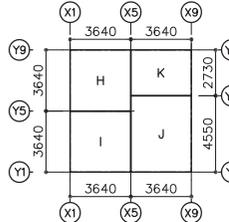
■斜線検討

斜線検討 I  
道路斜線距離 = 7.465  
道路斜線の高さ = 7.465 × 1.25 = 9.331  
軒先 i 高さ = 3.610 ∴OK  
高さ1200mmを超えるCB塀の場合は、鉄筋等の仕様を記載する。

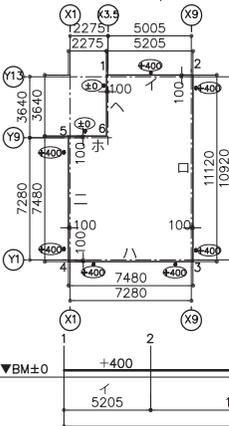
斜線検討 II  
北側斜線距離 = 2.007  
北側斜線の高さ = 5.000 + 2.007 × 1.25 = 7.508  
軒先 ii 高さ = 6.186 ∴OK

建築面積、各階床面積の端数処理  
合計面積について、小数点以下第3位を切り捨て

■2階床面積求積図 S=1/300



■地盤面算定表 S=1/300



■地盤面算定表

	長さ m	高さ m	面積 m <sup>2</sup>
イ	5.205	0.4	2.082
ロ	11.12	0.4	4.448
ハ	7.48	0.4	2.992
ニ	7.48	0.4	2.992
ホ	2.275	0	0
ヘ	3.64	0	0
合計	37.20		12.514
地盤面	= 12.51m <sup>2</sup> /37.20m		= 0.33639m
			= BM+336mm

周長算定において外壁の中心線で計算を行うことも可

■凡例

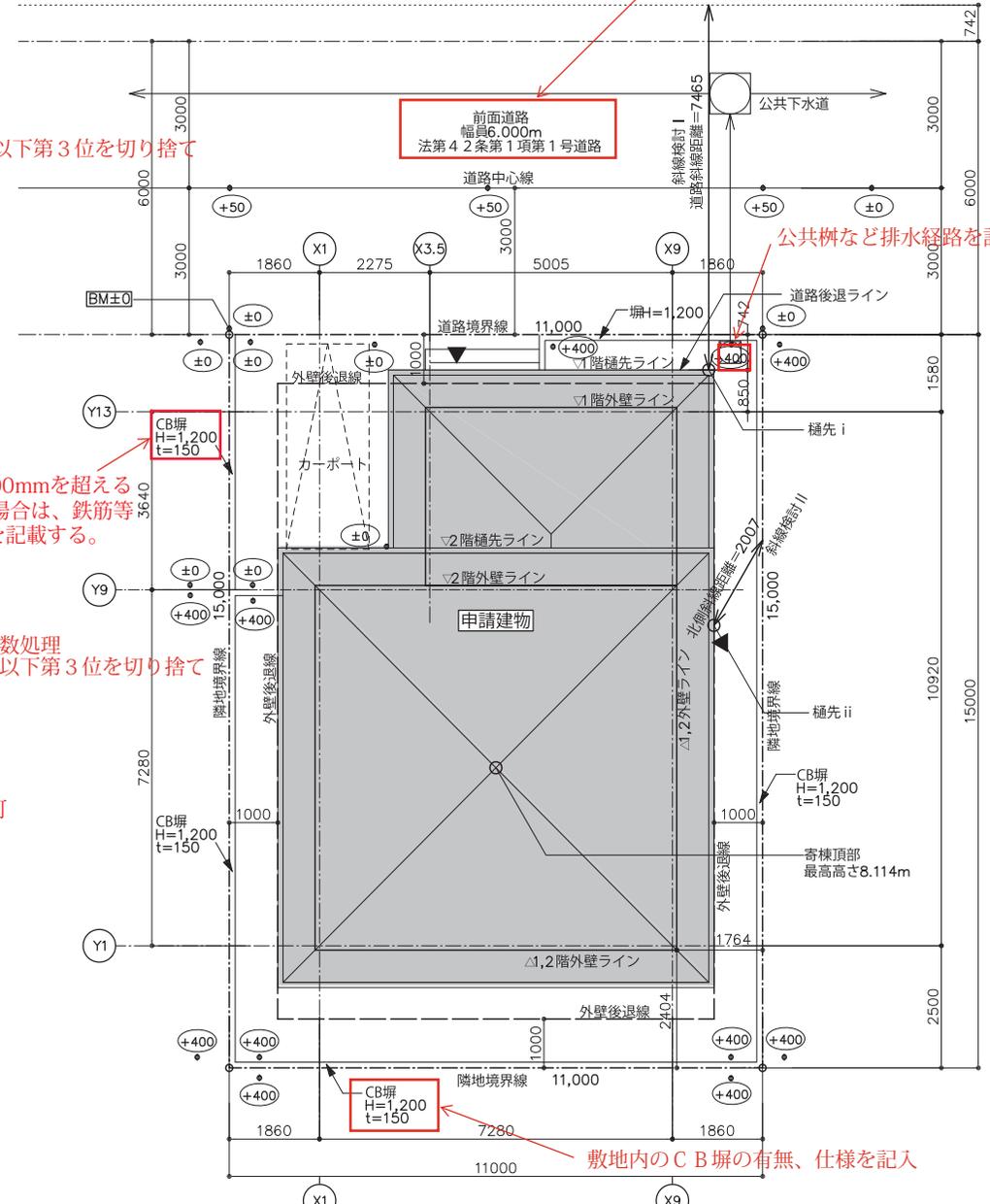
- 排水樹
- 地盤面=BM+336
- ±0 BMからの高さを示す



真北方向と隣地境界線との  
角度振れは30°

道路斜線の後退緩和線

前面道路の幅員、種類を記入



公共樹など排水経路を記入

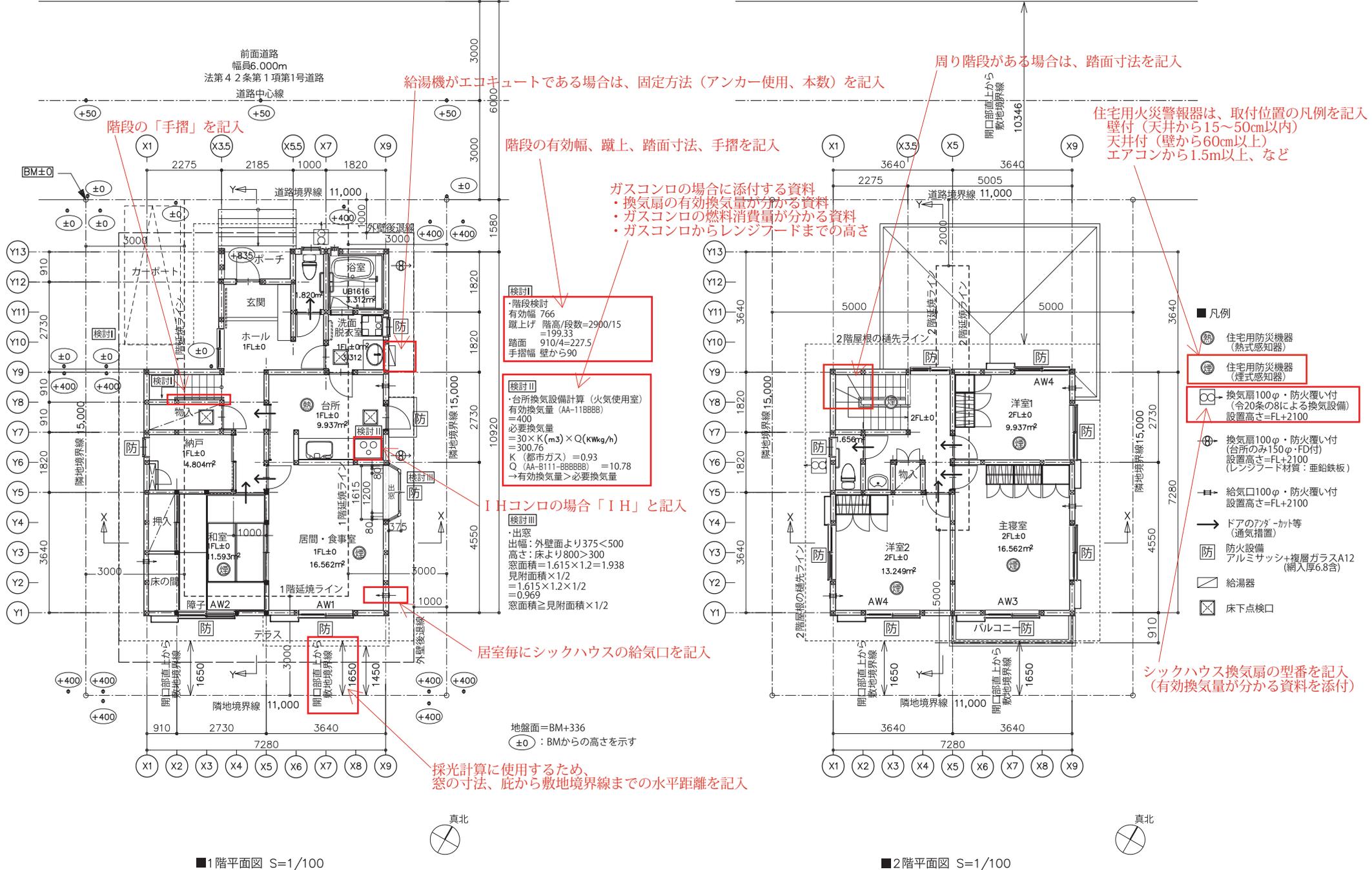
高さ1200mmを超える  
CB塀の場合は、鉄筋等  
の仕様を記載する。

CB塀  
H=1,200  
t=150

敷地内のCB塀の有無、仕様を記入

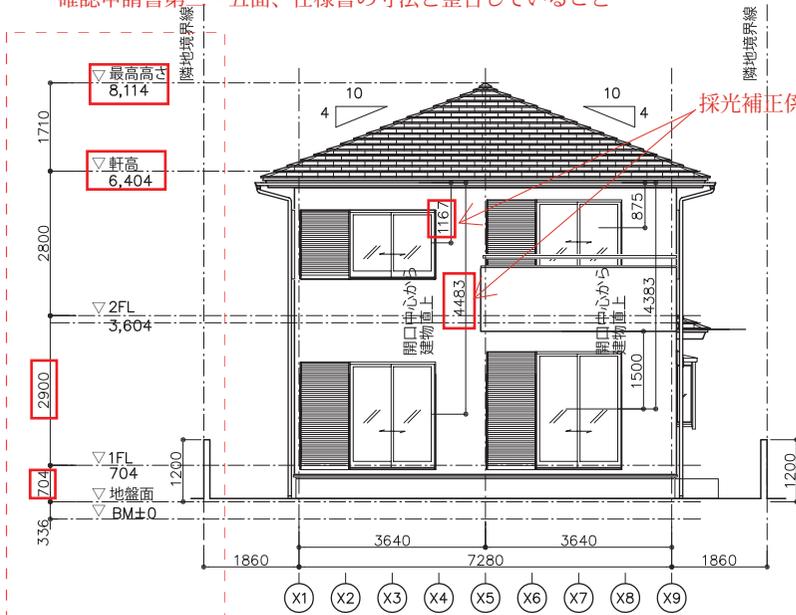
敷地周囲にかけ (勾配>30度、高さ>3m) がある場合、石川県建築基準条例第5条に適合していることを記入

# 確認申請図書の作成上の留意点 (平面図)

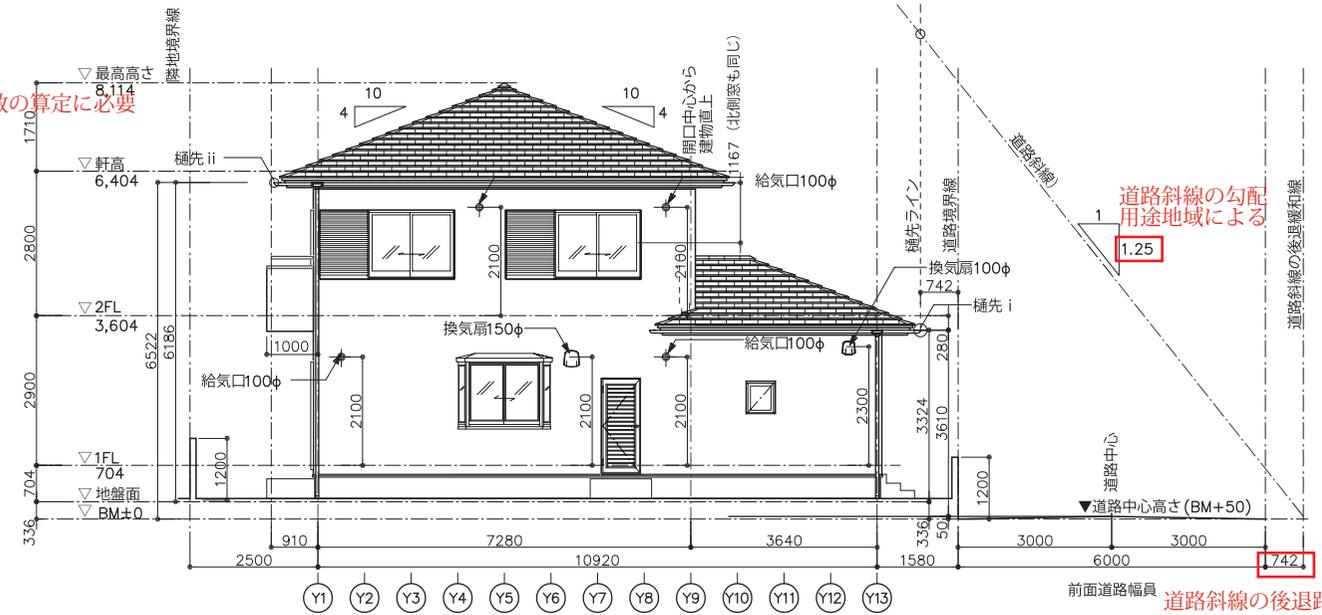


# 確認申請図書の作成上の留意点 (立面図、断面図)

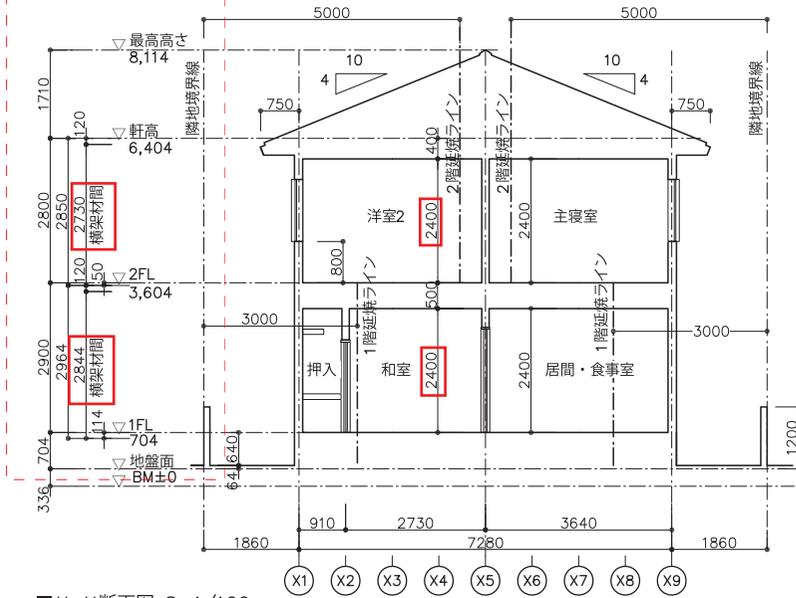
確認申請書第三～五面、仕様書の寸法と整合していること



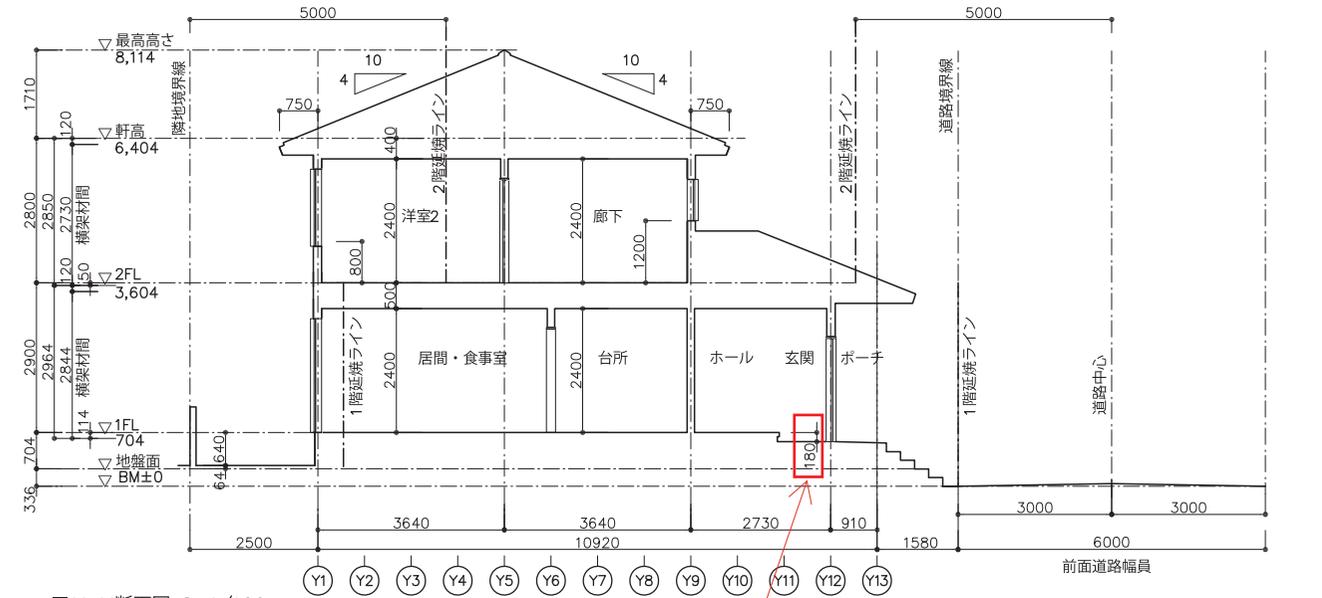
■南側立面図 S=1/100



■東側立面図 S=1/100



■X-X断面図 S=1/100



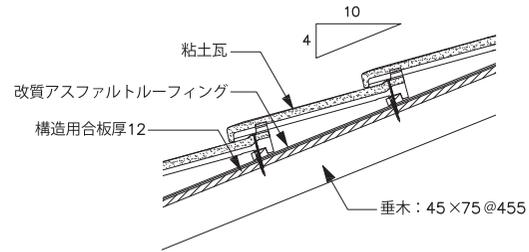
■Y-Y断面図 S=1/100

シックハウスの換気計算で玄関の天井高が分かる図面が必要

一級建築士事務所 ○○○○建築設計事務所		○◎邸新築工事	
一級建築士事務所 ○知事登録 ○○号 一級建築士 ○○大臣登録 ○○号 建築 次郎		立面図・断面図	04
		1/100	

# 確認申請図書の作成上の留意点（構造詳細図）

■耐火構造等の構造詳細図（屋根） S=1/10

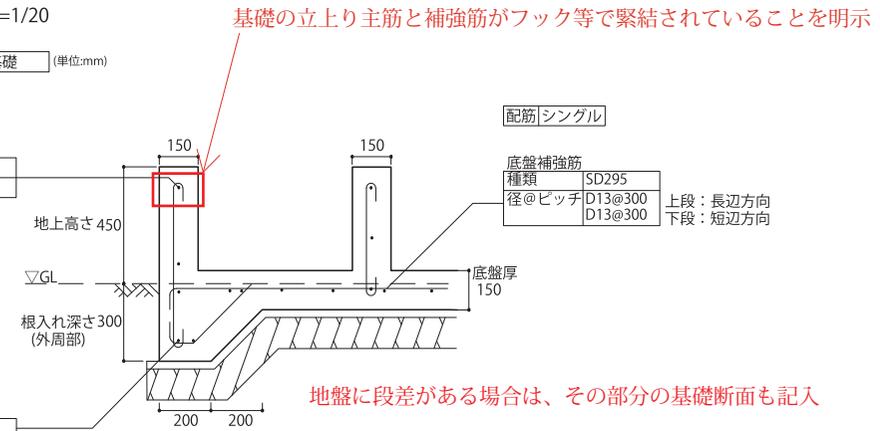


■基礎の仕様 S=1/20

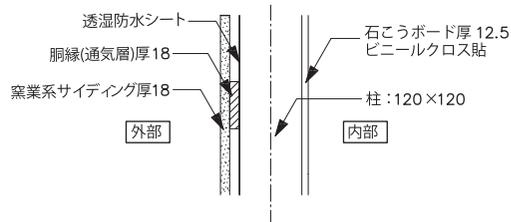
基礎形式 べた基礎 (単位:mm)

立り上端主筋	種類	SD295
	本数-径	1-D13
せん断補強筋	種類	SD295
	径	D10
	本数	1
	ピッチ	300
	フック	あり

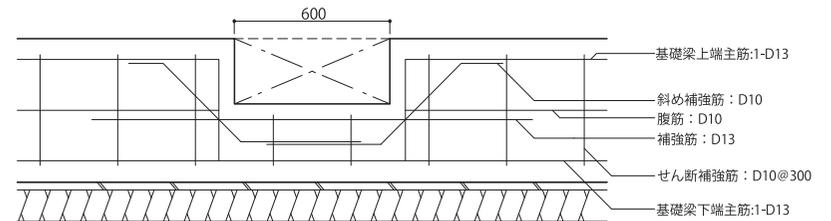
立り下端主筋	種類	SD295
	本数-径	1-D13



■耐火構造等の構造詳細図（外壁） S=1/10



■人通口廻りの開口部補強 S=1/20




一級建築士事務所	〇〇〇〇建築設計事務所	〇〇邸新築工事	
	一級建築士事務所〇〇〇〇知事登録〇〇〇〇号 一級建築士〇〇〇〇大臣登録第〇〇〇〇号 建築 次部	構造詳細図(1)	1/10,1/20 05

# 確認申請図書の作成上の留意点（構造詳細図）

○軸組の構造方法  
構造用面材との取合い

構造用面材の隅部の取合い

構造用面材の種類	厚み (mm)	くぎの種類	外周部くぎ間隔P1	内部くぎ間隔P2	壁倍率
構造用合板	9	N50	150mm以下	150mm以下	2.5

耐力壁が面材の場合、告示の仕様や、大臣認定の仕様・認定番号を図面に記入  
（※ 採用しないものは記載不要）

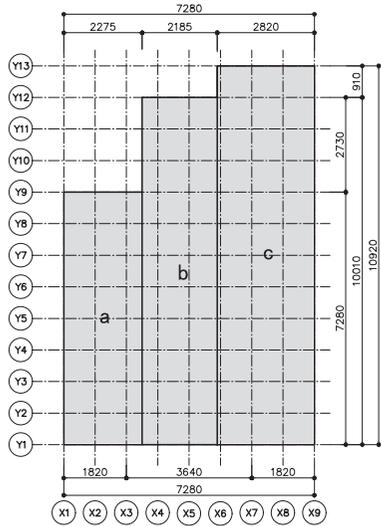
筋交いととの取合い

(片筋交い45mm x 90mm)      (たすき掛け筋交い45mm x 90mm)

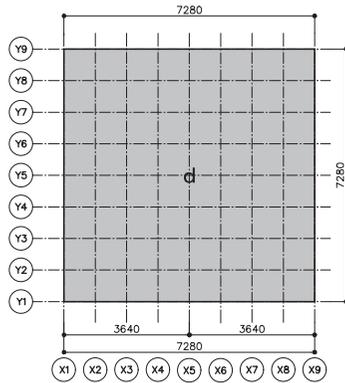
穴径150mmを超える貫通口がある場合は受材の補強等の検討が必要となる可能性有

# 確認申請図書の作成上の留意点 (壁量計算・面積算定表)

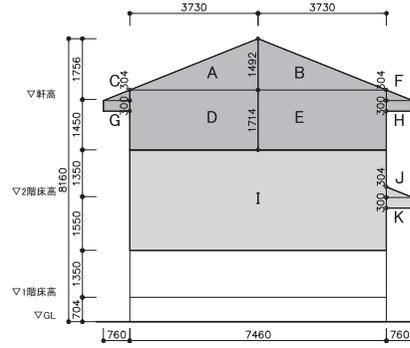
■1階床面積根拠図



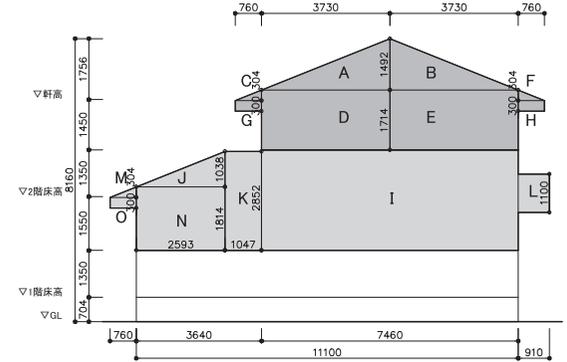
■2階床面積根拠図



■X軸方向見付面積根拠図



■Y軸方向見付面積根拠図



見付面積計算表に使用する寸法は、全て見付面積根拠図に記載すること

■1階床面積計算表

区画	縦(m)	横(m)	床面積(m <sup>2</sup> )	備考
a	7.280	2.275	16.5620000	
b	10.010	2.185	21.8718500	
c	10.920	2.820	30.7944000	

■2階床面積計算表

区画	縦(m)	横(m)	床面積(m <sup>2</sup> )	備考
d	7.280	7.280	52.9984000	

小屋裏収納があると、床面積の補正が必要となる場合有

■壁量判定用床面積

階	部位	計算式	壁量判定用床面積(m <sup>2</sup> )
2階	床	d	53.00
	合計	(2階床)	53.00
1階	床	a+b+c	69.23
	合計	(1階床)	69.23

■X方向見付面積計算表

区画	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
A	$3.730 \times 1.492 + 2$	2.7825800
B	$3.730 \times 1.492 + 2$	2.7825800
C	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
D	$3.730 \times 1.714$	6.3932200
E	$3.730 \times 1.714$	6.3932200
F	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
G	$0.760 \times 0.300$	0.2280000
H	$0.760 \times 0.300$	0.2280000
I	$7.460 \times 2.900$	21.6340000
J	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
K	$0.760 \times 0.300$	0.2280000

■Y方向見付面積計算表

区画	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
A	$3.730 \times 1.492 + 2$	2.7825800
B	$3.730 \times 1.492 + 2$	2.7825800
C	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
D	$3.730 \times 1.714$	6.3932200
E	$3.730 \times 1.714$	6.3932200
F	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
G	$0.760 \times 0.300$	0.2280000
H	$0.760 \times 0.300$	0.2280000
I	$7.460 \times 2.900$	21.6340000
J	$2.593 \times 1.038 + 2$	1.3457670
K	$1.047 \times 2.852$	2.9860440
L	$0.910 \times 1.100$	1.0010000
M	$0.760 \times 0.304 + 2$	0.1155200
N	$2.593 \times 1.814$	4.7037020
O	$0.760 \times 0.300$	0.2280000

■X軸方向見付面積計算結果→Y方向必要壁量の根拠

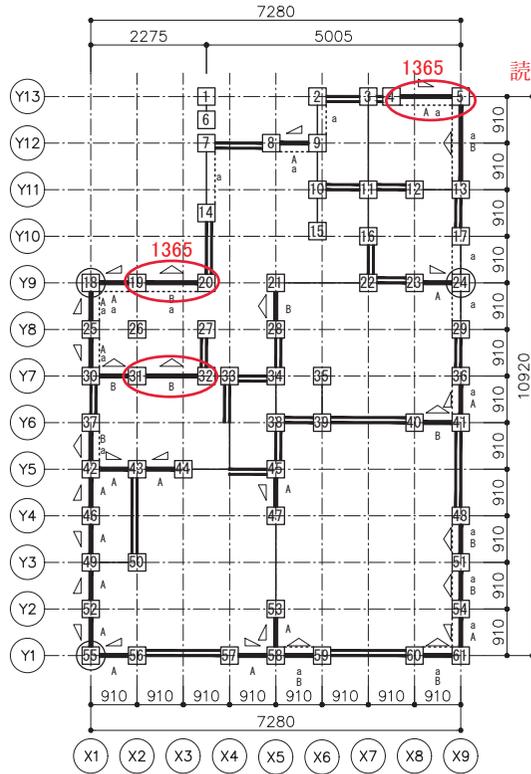
階	計算式	見付面積(m <sup>2</sup> )
2階	2階A+B+C+D+E+F+G+H	19.04
1階	1階A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K	41.02

■Y軸方向見付面積計算結果→X方向必要壁量の根拠

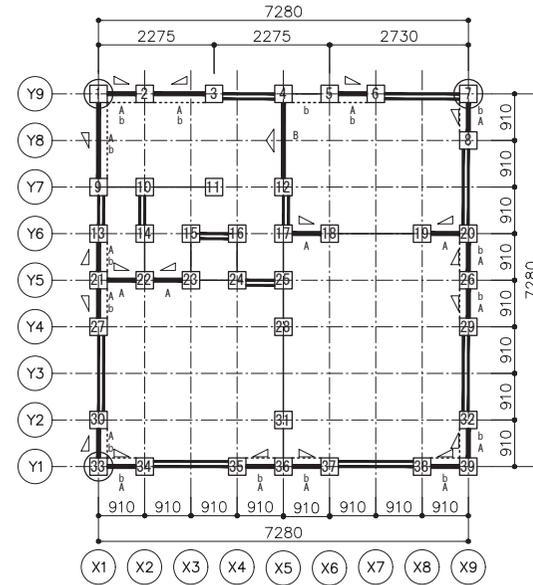
階	計算式	見付面積(m <sup>2</sup> )
2階	2階A+B+C+D+E+F+G+H	19.04
1階	1階A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N+O	51.05

# 確認申請図書の作成上の留意点（壁量計算・壁量判定 兼 耐力壁図）

■1階壁量平面図



■2階壁量平面図



読み取れない寸法がある場合は数値を記載すること

※ 柱位置等平面図と整合させること

凡例  
 一般壁 耐力壁 筋かいダブル 柱  
 開口部 準耐力壁等 筋かいシングル 柱頭・柱脚の向きを凡例として記入

■耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	壁記号	材種名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ (cm)	取付高さ (cm)	下地貼材高さ (cm)	垂直壁高さ (cm)	腰壁高さ (cm)	下地貼材実高さ (cm)	横架材間内法寸法 (cm)	有効壁倍率	最低厚さ (mm)	規格	くぎ打ちの方法	
																種類	間隔 (mm)
耐力壁	A	筋かい(45×90)(シングル)	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-
	B	筋かい(45×90)(ダブル)	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-
準耐力壁等	a	石膏ボード(床静ち大壁)	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.0	240.0	0.0	240.0	284.4	0.45	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40	150以下
	b	石膏ボード(床静ち大壁)	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.0	240.0	0.0	240.0	273.0	0.47	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40	150以下

\*有効壁倍率=基準倍率×係数×下地貼材実高さ÷横架材間内法寸法  
 ※本表に記載する以外の準耐力壁等の算入は行わない。

■壁量判定(必要壁量検討方法:A早見表)

階・方向	地震力に対する床面積当たりの必要壁量			風圧力に対する見付け面積当たりの必要壁量			必要壁量の決定				存在壁量 (cm)	壁量判定 必要壁量 ≤ 存在壁量
	床面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	見付面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	地震力 (cm)	記号	風圧力 (cm)	必要壁量 (cm)		
2階 X 方向	53.00	27	1,431.00	19.04	50	952.00	1,431.00	>	952.00	1,431.00	2,456.55	OK
2階 Y 方向			1,431.00	19.04		952.00	1,431.00	>	952.00	1,431.00	2,750.93	OK
1階 X 方向	69.23	39	2,699.97	51.05	50	2,552.50	2,699.97	>	2,552.50	2,699.97	4,381.65	OK
1階 Y 方向			2,699.97	41.02		2,051.00	2,699.97	>	2,051.00	2,699.97	4,556.83	OK

・風圧力の区分：一般地域  
 ・各階ごとに、X方向、Y方向のそれぞれについて、CとFを比較して、大きい方をこの建築物の必要壁量として採用します。  
 ・地震力の必要壁量は、「地震割増(令第46条第4項)」を含む(地震割増:1.0)

必要壁量の根拠(表計算ツール等)を添付すること

■存在壁量の算定

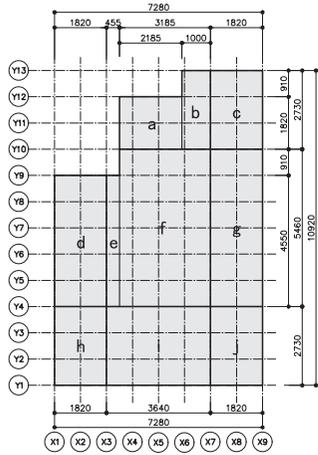
階・方向	壁記号	有効壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (耐力壁) (cm)	存在壁量 (準耐力壁等) (cm)	存在壁量 (合計) (cm)
2階/X方向	A	2.00	1,046.50	2,093.00		2,093.00
	b	0.47	773.50		363.55	2,456.55
2階/Y方向	A	2.00	819.00	1,638.00		1,638.00
	B	4.00	182.00	728.00		2,750.93
1階/X方向	A	2.00	819.00	1,638.00		1,638.00
	b	0.47	819.00		384.93	384.93
1階/Y方向	A	2.00	773.50	1,547.00		1,547.00
	a	0.45	637.00	2,548.00		2,548.00
1階/X方向	A	2.00	910.00	1,820.00		1,820.00
	B	4.00	546.00	2,184.00		2,184.00
1階/Y方向	a	0.45	1,228.50		552.83	552.83

■準耐力壁等の必要壁量に対する割合の確認

階・方向	必要壁量 (cm)	存在壁量 (準耐力壁等) (cm)	B/A	判定
2階/X方向	1,431.00	363.55	0.26	OK
2階/Y方向	1,431.00	384.93	0.27	OK
1階/X方向	2,699.97	286.65	0.11	OK
1階/Y方向	2,699.97	552.83	0.21	OK

・各階・各方向の必要壁量の1/2以下の範囲内で準耐力壁等を加算する場合、準耐力壁等を考慮せずに壁配置のバランスの確認を行います。また、壁倍率が1.5倍以下の準耐力壁等を考慮せずに柱頭・柱脚の接合方法の確認を行います。

# 確認申請図書の作成上の留意点 (壁量計算・四分画法)

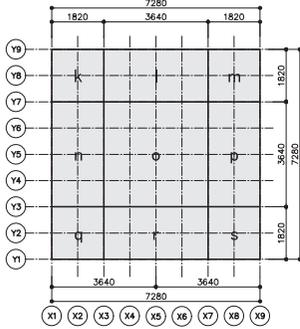


■1階四分画法面積根拠図

■区画別床面積計算表 [1階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	1.820	2.185	3.9767000	
b	2.730	1.000	2.7300000	
c	2.730	1.820	4.9686000	
d	4.550	1.820	8.2810000	
e	4.550	0.455	2.0702500	
f	5.460	3.185	17.3901000	
g	5.460	1.820	9.9372000	
h	2.730	1.820	4.9686000	
i	2.730	3.640	9.9372000	
j	2.730	1.820	4.9686000	

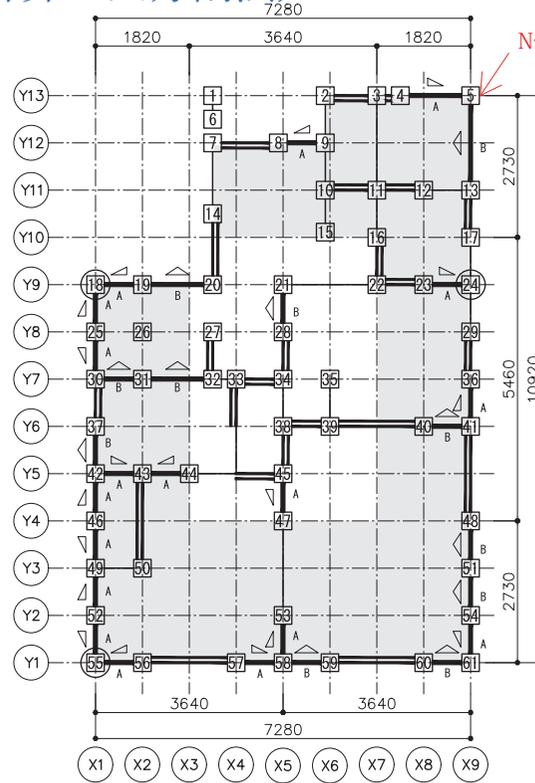
凡例 □ 床面積区画 a b c...床面積区画名



■2階四分画法面積根拠図

[2階]

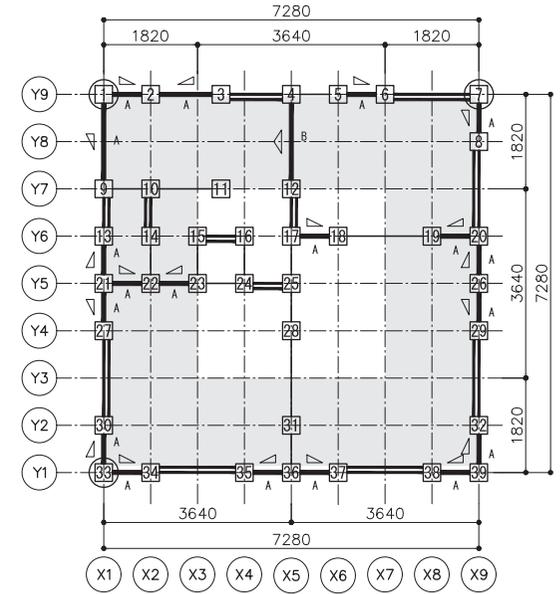
区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
k	1.820	1.820	3.3124000	
l	1.820	3.640	6.6248000	
m	1.820	1.820	3.3124000	
n	3.640	1.820	6.6248000	
o	3.640	3.640	13.2496000	
p	3.640	1.820	6.6248000	
q	1.820	1.820	3.3124000	
r	1.820	3.640	6.6248000	
s	1.820	1.820	3.3124000	



■1階四分画法平面図

N値計算表でどの柱の計算かわかるように附番すること

凡例 一 一般壁 二 耐力壁 △ 筋かいダブル 柱頭△柱間筋かいシングル 柱 柱通し柱



■2階四分画法平面図

■四分割対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
2	X	上	(k+l+m)	13.25
		下	(q+r+s)	13.25
	Y	左	(k+n+q)	13.25
		右	(m+p+s)	13.25
1	X	上	(a+b+c)	11.68
		下	(h+i+j)	19.88
	Y	左	(d+h)	13.25
		右	(c+g+j)	19.88

■四分割判定

階	方向	位置	有効面積 (㎡)		地盤割増	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率判定	壁量充足率判定	壁量充足率がNGの場合のみ	
			①	②						⑦=⑥÷④	⑧>①.0
2	X	上	13.25	27	1.0	357.75	637.00	1.78	OK	(0.87)	(OK)
		下	13.25	27	1.0	357.75	728.00	2.03	OK		
	Y	左	13.25	27	1.0	357.75	910.00	2.54	OK	(0.79)	(OK)
		右	13.25	27	1.0	357.75	728.00	2.03	OK		
1	X	上	11.68	20(*)	1.0	233.60	455.00	1.95	OK	(0.72)	(OK)
		下	19.88	39	1.0	775.32	1,092.00	1.41	OK		
	Y	左	13.25	39	1.0	516.75	1,456.00	2.82	OK	(0.83)	(OK)
		右	19.88	39	1.0	775.32	1,820.00	2.35	OK		

\* 壁量係数欄の(\*)は2階が乗らない領域のため平屋の係数を用いたことを表します。  
 \* 壁比率判定は、壁量充足率が全てOKの場合記入不要ですが、参考として( )を付けて記入しています。

四分割判定  
適合

必要壁量の根拠 (表計算ツール等) を添付すること

■1階X方向上の存在壁量 (cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y13	273.00										273.00
存在壁量	Y12	182.00										182.00
												455.00

■1階X方向下の存在壁量 (cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y1	182.00	182.00	364.00	364.00							1,092.00
存在壁量												1,092.00

■2階X方向上の存在壁量 (cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y9	182.00	273.00	182.00								637.00
存在壁量												637.00

■2階X方向下の存在壁量 (cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y1	182.00	182.00	182.00	182.00							728.00
存在壁量												728.00

■1階Y方向左の存在壁量 (cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X1	182.00	182.00	364.00	364.00							1,456.00
存在壁量												1,456.00

■2階Y方向左の存在壁量 (cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X1	364.00	182.00	182.00	182.00							910.00
存在壁量												910.00

■1階Y方向右の存在壁量 (cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X9	728.00	182.00	364.00	364.00							1,820.00
存在壁量												1,820.00

■2階Y方向右の存在壁量 (cm)

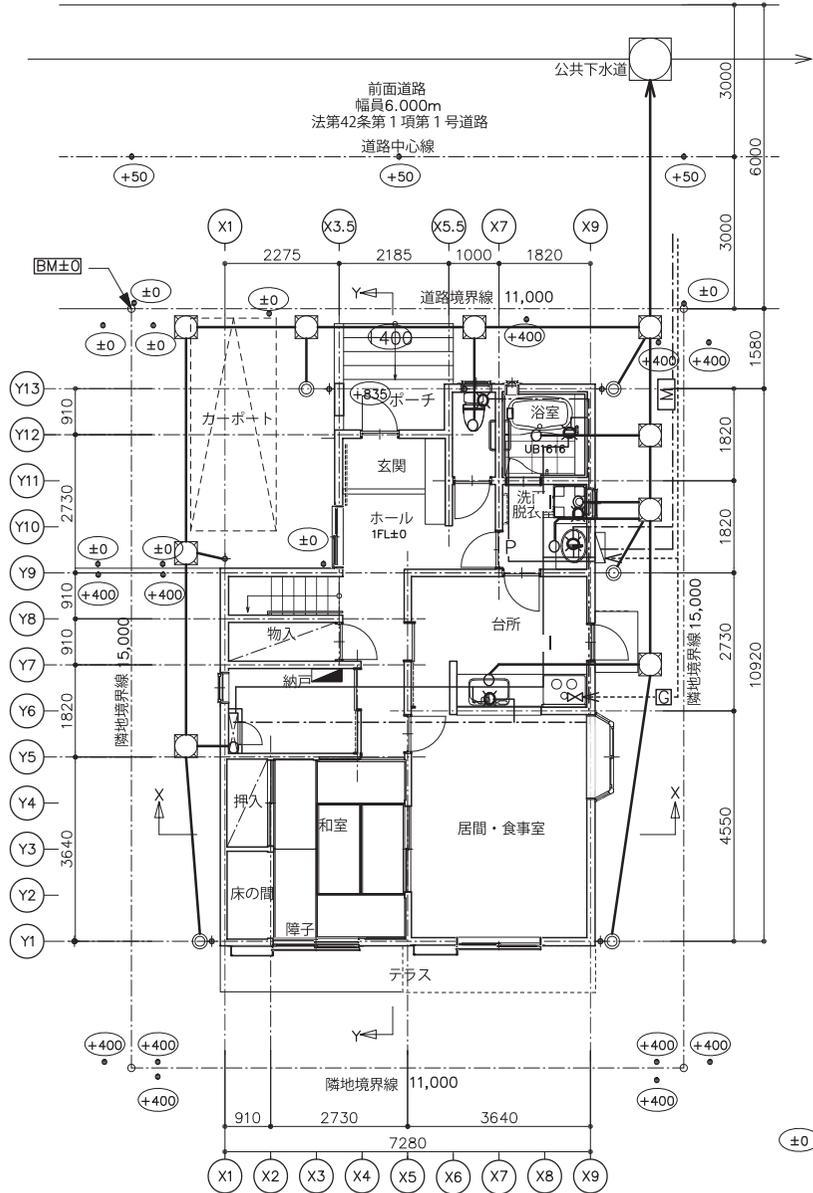
種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X9	182.00	182.00	182.00	182.00							728.00
存在壁量												728.00

\*各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の存在壁量を壁1、壁2、...と表示しています。

(存在壁量 = 耐力壁の壁倍率 × 長さ とします)



# 確認申請図書の作成上の留意点 (設備図)



○±0 :BMからの高さを示す

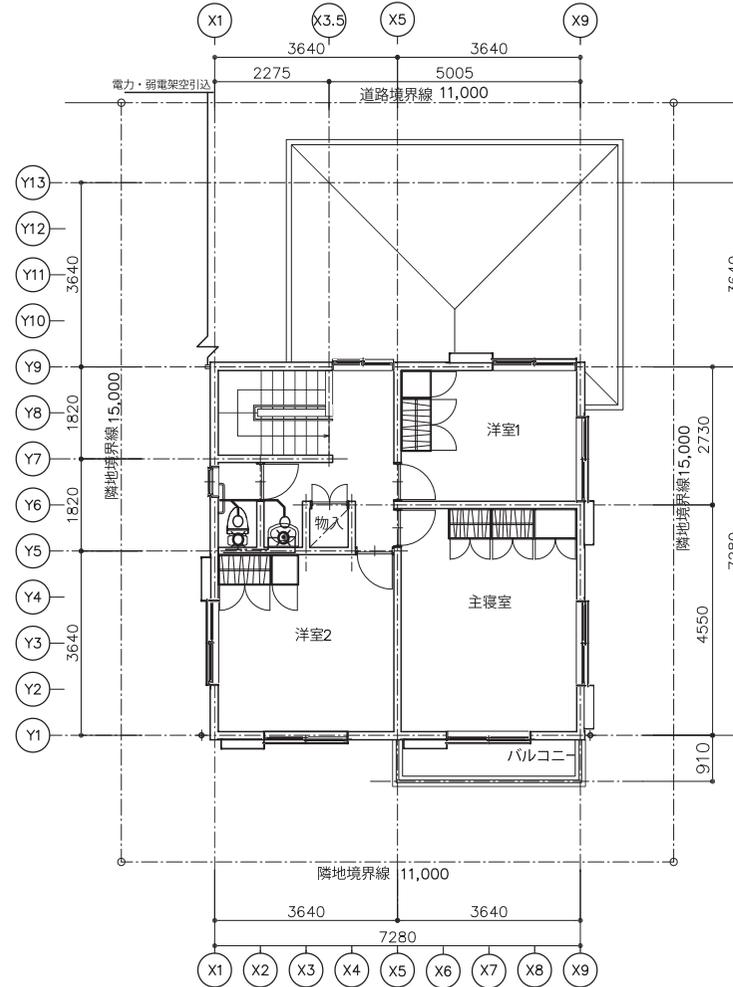


■1階平面図 S=1/100

設備概要	給水	給水本管より
給湯水	水道用塩化ビニル管	ガス給湯器より
排水	水道用塩化ビニル管20φ (防露GW厚20)	汚水・雑排水合流方式にて下水道本管処理
ガス	給湯管 ステンレス鋼管 20φ (防露GW厚20)	厨房用・給湯用として都市ガス13A(低圧ガス)
換気	給湯管 ペアチューブ鋼管	自然換気・第3種機械換気
	排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	
	ガス管 ○○ガス指定品	

## 凡例

—M—	引込み管 水道用塩化ビニル管	□	給湯器	○	排水樹
—	給水管 水道用塩化ビニル管20φ (防露GW厚20)	⊗	混合水栓 (給湯・給水)	+	堅礎 60φ
—	給湯管 ステンレス鋼管 20φ (防露GW厚20)	⊗	水栓 (給水)	◎	雨水枡 200φ
—P—	給湯管 ペアチューブ鋼管	○	排水	⚡	受電点 (電圧: 単相3線式200V)
—	排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	□	追焚き	■	分電盤
—G—	ガス管 ○○ガス指定品				



## 特記事項

- 〈共通〉
  - 上水道管理者及び下水道管理者と協議済み
- 〈給水設備〉
  - 有効な吐水口空間を確保すること
  - 給水管にはウォーターハンマー防止措置を行う
- 〈排水設備〉
  - 排水トラップの構造は、昭50年第1597号第2第3号の規定に適合すること
  - 通気管の構造は、昭50年第1597号第2第5号の規定に適合すること
  - 排水配管の構造は、令129条の2の4第3項に適合すること

## 省エネ仕様基準の場合

- ・断熱材、窓、ドア、設備 (暖冷房、換気、給湯、照明) の位置、仕様を記入
- ・上記の説明が分かる資料を添付
- ・断熱範囲がわかる図面を添付

■2階平面図 S=1/100

